

# 平成 27 年度全日本中学校陸上競技選手権大会の参加資格変更のお知らせとそれに伴う大分県の選手選考基準について

**重要**

## ☆平成 27 年度より適用された全日本中学陸上の参加資格

- 従来通り、参加標準記録を突破した選手は全中に出場できる。
- 県で参加標準記録突破者が 10 名に満たない場合、参加選手が 10 名になるまで推薦出場選手を全中に出場させることができる。(リレーと四種競技を除く)

### 【大分県独自の新・選考基準】

[優先基準1] 通信陸上及び県総体において、参加標準記録を突破した選手(突破者が 10 名以上になった場合は、推薦を行うことができない。)

[優先基準2] 通信陸上及び県総体において、参加標準記録を突破した選手が 10 名に満たない場合は、その年度の4月1日より県総体前日までの**公認競技会で、参加標準記録を突破した選手を推薦**する。追い風参考記録は選考の対象としない。

#### (想定される、選考が難しいケース①)

・通信陸上及び県総体において参加標準記録を突破した選手が 10 名以下で、推薦の対象者(その年度の4月1日より県総体前日までの公認競技会で、参加標準記録を突破した選手)を加えると 10 名を超えてしまう場合

⇒推薦の対象となる選手の記録を前年度中学日本ランキングに当てはめ、何位相当かを算出して上位の者から推薦することとする。10 人目の推薦参加選手を選考する際に、前年度中学日本ランキング何位相当の値が全く同じになった場合は、県総体終了直後に顧問教諭による抽選で決定するものとする。顧問教諭が会場に不在の場合は、該当生徒の在籍する学校がある郡市の陸上競技部長が代理抽選をする。

[優先基準3] 上記の優先基準2を適用しても、全中参加選手が 10 名に満たない場合は**通信陸上及び県総体の結果より、県独自に設定した「B 標準記録」(※別表1参照)を突破した選手の中で、その記録が前年度の中学日本ランキングの何位相当になるかを算出してその順位が上位の選手から推薦選手とする。**

#### (想定される、選考が難しいケース②)

・10 人目の推薦参加選手を選考する際に、前年度中学日本ランキング何位相当の値が全く同じになった場合

⇒県総体終了直後に顧問教諭による抽選で決定するものとする。顧問教諭が会場に不在の場合は、該当生徒の在籍する学校がある郡市の陸上競技部長が代理抽選をする。

#### (想定される、選考が難しいケース③)

・優先基準3までを適用しても、選手が 10 名に満たない場合

⇒それ以上の推薦は行わない

## 【別表1】 B 標準記録

○B 標準記録は以下の方法で決定した

① まず、全中参加標準記録を平成 26 年度中学日本ランキングの何位かを調べる。

(例：男子 100m) 参加標準記録の 11" 20 は、平成 26 年度日本中学ランキングの 93 位。

② 次に、その順位を 2 倍し、その順位の記録を B 標準とする。

(例：男子 100m) 93 位の 2 倍は 186 位。平成 26 年度日本中学ランキング 186 位は 11" 32。したがって、男子 100m の B 標準記録は 11" 32 とする。

③ この手順を全種目で行う。

男子			女子		
種目	参加標準記録	B 標準記録	種目	参加標準記録	B 標準記録
100m	11 秒 20	11 秒 32	100m	12 秒 53	12 秒 69
200m	22 秒 75	22 秒 98	200m	25 秒 90	26 秒 28
400m	51 秒 70	52 秒 44	800m	2 分 17 秒 00	2 分 19 秒 31
800m	2 分 01 秒 00	2 分 02 秒 67	1500m	4 分 38 秒 00	4 分 43 秒 02
1500m	4 分 08 秒 50	4 分 11 秒 89	100mH	14 秒 80	15 秒 11
3000m	8 分 59 秒 00	9 分 07 秒 72	走幅跳	5m40	5m25
110mH	15 秒 00	15 秒 37	走高跳	1m60	1m58
走幅跳	6m50	6m32	砲丸投	12m50	11m89
走高跳	1m85	1m83	平成 27 年度は参加標準記録が一部変更 (男子 800m 女子 100m・100mH)		
棒高跳	4m00	3m90			
砲丸投	13m00	12m21			

○B 標準記録の見直しについては、参加標準記録が変更になったタイミングでその都度再設定を行う。設定の方法は、再設定する年度の前年の中学日本ランキングを参考にしながら、上記と同じ方法で行う。

○推薦選手の決定と発表は、県総体の競技終了直後に、場内放送で行う。発表後すぐに全中出場登録手続きがあるため、推薦される可能性のある選手が在籍している学校の顧問は、大会終了まで会場に待機しなければならない。大会中の選考途中経過の問い合わせについては、専門部長が受け付ける。

○推薦選手選考基準を満たしても、以下の選手は選考の対象とならない。  
・通信陸上及び県総体において、別の種目で標準記録を突破して全中出場を決めている者。

### 【特記事項】

○平成 27 年度に限っては、この変更を全県下にお知らせしたのが 4 月末でしたので、「優先基準 2」にある「4 月 1 日より～」の部分、「5 月 1 日より～」とします。